外国語活動指導案

日　時　令和８年２月 16 日(月)
５校時　13:30～14:15
学校名
対　象　第６学年　組　名
会　場　６　年　組教室
授業者

１　単元名

Lesson 8　My Junior High School Life　*Junior Sunshine 6*（開隆堂）

２　単元の目標

小学校卒業後の自分の将来に希望をもつために、学級の友達に中学校入学後の抱負を、内容を整理し話して伝えることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　文における基本的な区切りについて理解し、文を適切に区切りながら話すことができる。 ②　中学校入学後の抱負を伝える内容を整理して、自分の考えや気持ちなどについて、話すこと［発表］の技能を身に付けている。	①　小学校卒業後の自分の将来に希望をもつために、学級の友達に中学校入学後の抱負を、内容を整理し話して伝えている。	①　小学校卒業後の自分の将来に希望をもつために、学級の友達に中学校入学後の抱負を、内容を整理し話して伝えようとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）　第２章　第 10 節　外国語　第２　英語　１　目標　⑷　話すこと［発表］

> ウ　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語彙や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

また、同２　内容〔第５学年及び第６学年〕　〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> ア　音声
> (ｵ) 文における基本的な区切り

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ア　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

> ①　言語活動に関する事項
> エ　話すこと［発表］
> (ｳ)　簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄ついて、自分の考えや気持ちなどを発表する活動。

② 言語の働きに関する事項 イ 言語の働きの例 (ｳ) 事実・情報を伝える ・ 発表する

を受けて、小学校卒業後の自分の将来に希望をもつために、学級の友達に中学校入学後の抱負を、内容を整理し、話して伝えるという言語活動を設定することとした。

⑵ 児童観

当学年では教科担任制を導入しており、第６学年３学級の外国語の授業を一人の担当が指導している。また、週に１回程度ＡＬＴが来校し、連携して授業を行っている。

当学年は、第５学年に進級し、外国語科が始まってから、自己紹介や自分の誕生日や特別な日、自分の憧れの人について発表を行ってきた。第６学年では、Lesson 1 This is me. , Lesson 4　My Summer Vacation と Lesson 5 Where do you want to go? において、自分のことについて発表する活動に取り組んでいる。本学級の児童は、学級の友達の前で英語を使ってスピーチすることに少しずつ慣れてきており、アイコンタクトや声の大きさを意識したり、ジェスチャーを取り入れようと工夫したりする姿も見られている。しかし、伝える内容を整理できず、伝える量が増えてしまい、何を伝えたかったのか分かりにくい発表となってしまっている児童もいる。

そこで、本単元では、自分の思いが相手に伝わるように内容を整理していく。第１時で単元の目標を共有し、中学校生活への期待感をもち、学級の友達の前で中学校入学後の抱負を発表することへの意欲を高められるようにする。そして第２時では、その抱負を相手に伝えるためにはどのような内容をどのように構成していくべきかを考え、伝える内容を整理するという視点をもたせたい。そして第３時以降は必要となる語彙・表現を確認していく。ゴールを見据え、どのような語彙・表現を学ぶ必要があるのかということを理解した上で学習を進める。

また、すべての単語を同じ大きさで発音したり、意味をよく理解できていないまま、原稿を読むだけになってしまったりする児童も多い。そこで、文の構成や意味のまとまりを捉えて区切りながら話す指導を行い、聞き手が聞き取りやすいことに気付く。

⑶ 教材観

本単元では、学級の友達に、小学校卒業を前に自分の思いを知ってもらうために、中学校で頑張りたいことについて、伝える内容を整理して、自分の考えや気持ちなどを発表する単元である。I want to~.の表現は Lesson 7 My Dream をはじめ、これまでの学習で繰り返し扱ってきている。小学校での英語活動での集大成として、これまでの既習事項を振り返り、どのような表現を使えるのか考える。

今回の発表の相手（聞き手）は学級の友達とした。本学級では、進学先が異なる児童がいる。６年間を共に過ごしてきた友達に向けて、中学校入学後の抱負を発表することで、互いの成長を応援し合える機会になると考える。児童一人ひとりが思いをもち、主体的に学びを進められるように児童とともに計画を立て、学習を進めていく。

中学校でしたいことや頑張りたいことは、部活動や習い事、勉強と多岐にわたると考えられる。それらをたくさん伝えるだけでは、自分の考えや気持ちが相手に伝わりにくいことを理解する。まず中学校で頑張りたいことを一つに絞る。その上で、「①中学校の抱負②その理由や動機③決意」と内容を整理する。既習事項を用いて、自分の好きなことや得意なこと、思い出等を伝えたいという児童が出てくることも考えられる。その内容は自分が一つ絞った中学校での抱負と関連があるのかを判断の基準とし、伝える情報を取捨選択し、内容を整理できるよう指導する。

発表の練習を行うにあたって、自分の思いをより相手に伝えるためにはどのような伝え方をするとよいのかを児童とともに考え、「発表のポイント」としてまとめる。その際に、文における基本的な区切りについて指導を行うことで、より聞き手が聞き取りやすい英語になることを理解する。

【発表例】　※（　）内は、「内容の整理」を示す。※ / は、音声の区切りを示す。

I want to study / English / hard / in my junior high school. （中学校で頑張りたいこと）

I want to speak / English / well.（その理由や動機）

I want to be / an English teacher. （自分の決意）

５　年間指導計画における位置付け

月	単元名	重点領域
4	Lesson 1　This is me.	話すこと［発表］
5－6	Lesson 2　Welcome to Japan.	書くこと
6－7	Lesson 3　What time do you get up?	話すこと［やり取り］
7	Let's Check 1	読むこと
9－10	Lesson 4　My Summer Vacation	話すこと［発表］
10－11	Lesson 5　Where do you want to go?	話すこと［発表］
11－12	Lesson 6　My Best Memory	書くこと
12	Let's Check 2	聞くこと
1－2	Lesson 7　My Dream.	話すこと［やり取り］
2－3	Lesson 8　My Junior High School Life.（本単元）	話すこと［発表］
3	Let's Check 3	読むこと

６　単元の指導計画と評価計画（全７時間）

時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
第1時	単元の最後に実施する言語活動を理解して、内容に興味をもつ。	○　単元目標の理解 ・　本単元の学習の流れについて理解する。 ・　目標とする言語活動に触れ、興味をもつ。 ・　既習事項を振り返る。 ・　どのような内容を伝えるとよいか考える。	ウ－① （行動観察、振り返りカード分析）
第2時（本時）	中学校入学後の抱負を学級の友達に伝えるための内容を整理し、学習の見通しをもつ。	○　発表に向けた内容整理 ・　どのような内容を伝えるとよいか考え、グループで意見を交換する。 ・　自分の発表の内容を整理する。 ○　学習計画の立案 ・　どの既習事項が使えるか、どのような語彙が必要かを考え、学習の見通しをもつ。	ア－② （行動観察、ワークシート分析） ウ－① （振り返りカード分析）
第3時	中学校入学後の抱負を伝える表現に慣れ親しむ。	○　中学校入学後の抱負を伝える語彙・表現の学習 ・　部活動や教科の語彙を確認する。 ・　ペアで中学校入学後の抱負を伝え合う。 A: What do you want to do in your junior high school? B: I want to join (study) ～.	ア－② （行動観察）
第4時	中学校入学後の抱負の理由や動機を伝える表現に慣れ親しむ。	○　中学校入学後の抱負を伝える表現の学習 ・　中学校入学後の抱負の理由や動機を伝える表現を練習する。 ・　中学校入学後の抱負を理由や動機とともに伝え合う。	ア－② （行動観察）

第5時	中学校入学後の抱負に対しての自分の決意を伝える表現に慣れ親しむ。	○　自分の決意を伝える表現の学習 ・　自分の決意を伝える表現を練習する。 ・　中学校入学後の抱負を理由や動機、決意とともに伝え合う。	ア－② （行動分析）
第6時	発表のポイントを意識しながら、ペアで発表し合うことができる。	○　発表のポイントの共有 ・　発表するにあたって大切にしたい「発表のポイント」について考える。 ・　文における区切りによる違いを学び、練習する。 ○　発表に向けて、ペアでの練習 ・　発表でよかったところを全体で共有し、自分の発表に生かす。	ア－① （行動観察、スピーチ） ウ－① （振り返りカード分析）
第7時	学級の友達に、小学校卒業を前に自分の思いを知ってもらうために、中学校で頑張りたいことについて、伝える内容を整理して、自分の考えや気持ちなどを発表している。	○　中学校で頑張りたいことについての発表 ○　単元全体の振り返り	イ－① （スピーチ） ウ－① （振り返りカード分析）

7　指導に当たって

ア　中学校入学後の抱負を学級の友達に伝えたいという思いをもたせ、自分の思いをより相手に伝えるためにはどのような内容を伝えるとよいか考えさせる。ゴールを見据えた上で、必要な語彙や表現を考えるなど、児童と計画を立て、「主体的な学び」を進める。

イ　友達のやり取りや発表を見て良かったところを共有したりや友達同士での意見交流の機会を設定したりする「対話的な学び」を取り入れる。

ウ　「どのようにすればより相手に自分の思いが伝わるか」という視点で、これまでの学びを生かし、内容を整理したり発表のポイントを考えさせたりして、自分の発表を振り返りながら、「深い学び」につなげる。

8　本時（全７時間中の第２時）

⑴　本時の目標

中学校入学後の抱負を学級の友達に伝えるための内容を整理し、学習の見通しをもつ。

⑵　本時の展開

時間	○　学習内容　・　学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 （評価方法）
導入 8分	○　Greetings ・　あいさつをする。 ○　Warm up ・　前時の既習事項を使って自分のことを話す。 I can ~. I can't ~. I'm good at 〜. I'm not good at ~.	・　前時の既習事項を模造紙にまとめて掲示しておく。 ・　中学校の始めにペアで自己紹介をする場面を意識させる。	

展開 32分	○　Sharing Today's Goal 中学校で頑張りたいことを伝えるための内容を考え、学習計画を立てよう。 ○　Thinking ・　グループでどのような内容を伝ええるとよいか意見を出し合いホワイトボードにまとめ、全体で共有する。 （内容の整理の例） ①　中学校で頑張りたいこと ②　その理由や動機 ③　決意 ・　発表内容をワークシートにまとめる。 ○　学習計画の立案 ・　どのような語彙や表現を新しく学んだり、練習したりする必要があるのか考える。 ○　語彙の確認 ・　Word Book から行事や部活動など自分が伝えたいことを選び、ペアで確認する。 ・　全体で教師とやり取りを行いながら、語彙を確認する。	・　意見交換が活発になるように、事前に自分の考えもたせるように課題を与えておく。 ・　どのような内容を、どのような構成（順序）で伝えるとよいかを考えさせる。 ・　途中で発表の例を二つ（伝えたい内容を一つに絞ったものと複数あるもの）提示し、伝える内容を一つに絞るよさに気付かせる。 ・　全体で共有するときには、児童の言葉を使ってまとめられるようにする。 ・　既習事項が使えることに気付かせる。発表までの見通しをもたせる。	ア－② 中学校入学後の抱負を伝える内容を整理して、自分の考えや気持ちなどについて、話すこと［発表］の技能を身に付けている。 （行動観察、ワークシート分析） ウ－① 小学校卒業後の自分の将来に希望をもつために、学級の友達に中学校入学後の抱負を内容を整理し話して伝えようとしている。 （振り返りカード分析）
まとめ 5分	○　授業の振り返り ○　終わりの挨拶	・　振り返りカードを書かせる。自分が伝えたい内容が整理できたのか、相手に伝えたい思いを記述できるようにする。 ・　次の時間の見通しをもたせる。	

⑶　板書計画

sunny, Monday, February 16th

Today's goal

「中学校入学後の抱負を伝えるための内容を考え、学習計画を立てよう。」

既習事項をまとめたもの

～どのような内容を伝えるとよいか～

（児童がまとめたホワイトボードを掲示する）

①中学校の抱負　②その理由や決意　③決意

【学習計画】

③～⑤必要な表現を学ぶ。

⑥発表練習リハーサル

⑦発表会

⑷　授業観察の視点

ア　中学校入学後の抱負を学級の友達に伝えたいという思いをもち、学習に臨めていたか。自分の思いをより相手に伝えるためにはどのような内容を伝えるとよいか考え、ゴールを見据えた上で、必要な語彙や表現を考えるなど、「主体的な学び」を進められえていたか。

イ　どのようなことを伝えるとよいかグループで話合いを行ったことで、内容の整理の視点を考えるときに「対話的な学び」を促せていたか。